

小松川ノ一有志(完) 齋藤自齋傳成之國分庄作

日本人ハ由來「報恩」ト云フニト、「何カ故」ト云フ事ヲ考ルル
ニトガ是ラナイ、社會ノ進歩社會ノアラユル生産ハ一トシテ勞働
者ノ手ニ依テナラナイモ、ハナイ勞働者ノ共ノ貢獻ニ對シテ報
恩ノ念ヲ以テ向フベキニ外地ノ如ク勞働者ヲ人間ト思ハズ
大根ヤ葱ヲ切ルカ如クニ識首スルノハ言語同新デアル
佐倉宗五郎ハ一農民テアワテ世間カラ非常ニ崇拜セラレ
テ居ル頑是ナキ子供二人迄モ叙セラレ、尋ノニトリ世間ニモ其
ノ例ヲ見ナイ程テアル然ルニ斯ク崇拜セラレ、事ハ何故カ其
犠牲ハ如何カト云フ事ヲ考ルル人ガ少ナイ故ニ第一第一三ノ
佐倉君アルモ徳川ノ階級改定ハ三百年モ續イタノデアル勞
働者議ノ起ルノハ何故カト云フ事ヲ能ク考ルテ見レハ其

計ニ致ノ事議ヲ起ラナイ様ナ政度カ考ララレハ、然テアル
労働者議ノ起ル根本原因カ何處ニアルカラ考ラテ見ルト社
會ノ大多數ノ労働者ヲ無視シタル官紳中心ノ資本家独才
ノ生産組織テアルカラテアル労働者議ガ起ラテ困ルを云テ
ハ最後ニ如何ナル處ニ行カネハナラヌカ憂慮ニ堪ラナイ

経過報告 保護士 徳田 球

統テ生産ハ社會ノ需要ノ為メニ行ハルベキ事ナラレニ係ラズ
現生ノ生産組織ハ利益中心主義テアルカラ、必ス經濟界ノ
恐慌不景氣ハ免ルベカラカラル事ナラ、故ニ天災時ノ好景氣
ニ無暗ニ生産ヲ嵩メ工場ヲ拡張旨政策ニ生産シテ其ノ反
動ニ対シテ備フルト云ヒガナイ為メニ非常ノ悲境ニ陥ルハ